

# グローバル時代における朝鮮半島と日本の役割 — 東アジア平和の為の日韓両市民の役割 —

あけましておめでとうございます。

グローバル化の進展と世界金融秩序の動揺、政治の混迷、財政危機、円高、失業、テロ攻撃が重なり、先が見えない状況から、大きな変化が予想される 2010 年を迎えました。

政治、資源、軍事核大国の、中国、露国、米国の結節点に位置する大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国と日本は、協力関係を確立する以外に内部崩壊を避ける道はありません。日韓併合 100 年にあたる本年、対立を生かし、「和而不同」から生まれる「和譲」を旗印に、新たな人類繁栄の道を拓こうではありませんか。

この認識からこのほど、ナムム（分かち合い）教会の牧師で、韓日 100 年平和市民ネットワークの李大洙（イ・デス）運営委員長と、韓国・啓明（ゲミョン）文化大学の岡田卓己招聘教授より、日本と朝鮮半島の代表的な対立点である独島/竹島問題、日本海/東海呼称問題を契機に、より上位概念に止揚する目的で座談会の共催をご提案いただきました。新年のキーワード「新」にいたる年初のきっかけとする所存ですので、お誘いあわせご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

財団法人人間自然科学研究所  
理事長 小松昭夫

## パネラー、コーディネーター紹介

李大洙(Lee Dae Soo)	岡田 卓己(おかだ たかし)	小松昭夫(こまつ あきお)
<p>延世大学校教育学科、漢陽(ハニャン)大学校行政自治大学院、韓国キリスト教長老会布教教育院を経て現在、「ナムム(分かち合い)の教会」牧師、軍浦(クンポ)環境自治市民会代表、京畿市民社会フォーラム常任運営委員長、青い京畿21実践協議会運営委員長、韓日100年平和市民ネットワーク運営委員長</p> 	<p>1952年川崎市生まれ。神奈川県立高校、養護学校での教職を中途退職(30年勤務)。日本が侵略・植民地支配をした国の人々と、どうしたら相互理解を深められるのかを考え、韓国に居住。2007年9月より、啓明(ゲミョン)文化大学で外国人専任講師(招聘教授、日本語)として勤務。「韓国併合」100年市民ネットワーク 共同代表。川崎から日本軍「慰安婦」問題の解決を求める市民の会 共同代表。韓日 100 年平和市民ネットワーク 会員</p> 	<p>松江工業高校卒、91年にシートシャッター「門番」でニュービジネス大賞受賞。92年に韓国に「門番」技術を無償供与。同年上下水道制御、監視システム「やくも水神」発表。94年HNS人間・自然科学研究所設立。シンポジウムと出版、中国、韓国、米国、露国等、数々の戦争記念館を訪問献花する中で、平和環境健康構想を発表している。</p> 

## 場所・日程

日時: 2010年1月12日(火) 17:00 ~ 19:00

会場: 小松電機産業株式会社 太陽ホール

島根県松江市乃木福富町735-188 松江湖南テクニパーク内  
松江駅より車で10分、JR山陰本線乃木駅下車徒歩15分

参加: 無料

主催: (財)人間自然科学研究所、韓日 100 年平和市民ネットワーク

後援: 小松電機産業株式会社



## 申込書

大変お手数をおかけしますが、1月9日(土)まで次の申込書をご記入のうえ、FAX 頂きますようお願い致します。

氏名	住所	電話/ファックス番号
〒		
〒		
〒		